事務事業評価シート 平成28年度 第10次鳥取市総合計画所属名 総務部中核市推進局 中核市推進局 事務事業コード 030100 重点施策 事務事業名 中核市準備事業

-	_	ル士	+0

	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
総合計画	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営			事業期間	平成26年度 ~ 平成29年度
ブロー	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	
けの	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	T I I I I I I I	
目施	指標設定なし		0	0	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の			0	0	運営方法	直営	
0,				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予笪事業名 【中	□核市関連】	中核市事業費			予算事業コード	01-02-01-11-16-04

2 事業目的【PLAN】

4. 争未日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	・国(総務省)・県・関係機関等。市庁内各課等。 ・中核市市長会、先行している中核市等。 ・市民・事業者・関係団体等。
意図 (どのような状態 にするために)	本市が中核市へ円滑に移行すること。(平成30年4月1日移行予定)
手段 (どうするのか)	・国(総務省)・県・関係機関等との連携、協議、事務調整等。 ・中核市市長会、先行している中核市等からの情報収集等。 ・市民・事業者・関係団体等への情報提供・広報。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	争果の:	牛度別計画	・美領 【PLAN・DO】			※年度別の	¥り組みを間深に記入_
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E 別計画	②中核市移行に関する 県・市間の協議 ③庁内における連絡会 議等 ④中核市市長会ほか先 行市からの情報収集	①国(総務省)への申出 ②中核市移行に関する 県・市間の協議 ③庁内における連絡会 議等 ④中核市市長会ほか先 行市からの情報収集 ⑤市民・事業者等への 情報提供			
谷	年度	 医別実績	①事前ピアリング ②県市協議会(3回) ③庁内推進本部会議(2回)、庁内幹事会(5回)、WG(4回) ④中核市市長会会議等 参加、先行市視察(3 市) ⑤パンフレット、懸垂幕、ミニのぼり族、等				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	1,578	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,578	0	0	0	0
業	古拉纽	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,578	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		中核市への移行(国の政令公布)	件	目標	0	1	0	0	0
	1		1	実績	0	0	0	0	0
<u>:</u> _		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1,534				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要	[DO]	(うら ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連重
事務事業の実施概要	【問合せ先】中 中核の施 (10次総子) 「事業取市 (10次総子) 「事業取市日」 「事業取市日」 「事業取市日」 「事業取市日」 「おした中ででは、 「おいれのでは、 「おいれのでは、 「おいれのでは、 「おいれのでは、 「おいれのでは、 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連重進局 0857-20-3125 5101 : 当初予算・P11 (中001) ビスの向上とともに、山陰東部圏域の発展の基礎となる中核市への成26年6月、『中核市』移行(平成30年4月1日予定)を表明、県からの移譲事務の調整や鳥取市保健所設置に向けた検討・調整市移行に係る総務省のヒアリングを受ける予定があるほか、円滑によう、県・市間での協議・事務調整や、事務マニュアル作成など、向けての諸準備を進める。ついて広報・周知するため、とっとり市報やパンフレットによる広核市シンポジウム、市職員研修会を開催し、気運醸成と市民・職員がなど国関係機関等へ職員出張、先行中核市等へ職員出張、先行中核市等へ職員出張、光行中核市等へ職員出張
	の理解を深める。 【事業の成果】 ・総務省事前ヒアリン・中核市市長会主催会・とっとり市報増頁、 ・中核市移行シンポジ	グなど国関係機関等へ職員出張 議、先行中核市等へ職員出張 パンフレット作成、懸垂幕設置、ミニのぼり旗作成などの広報 ウムの開催、市職員研修会の開催
	1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	】 国(総務省)・県・関係機関等との緊密な連携、詳細な事務調整等。 団体等への情報提供・広報。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	中核市への移行(国の政令公布)					
標達成	2						
率	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり	県との事務調整、国(総務省)の事前ヒアリングなど具体的な手続きが進められた。中核市移行シンポジウムの開催のほか、市報、パンフレット、懸垂幕、
[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。	□ 3. 事業未完了	ミニのぼり旗などによる市民・団体への広報も充実できた。
事業の成果 [指標]タブの入力結果を基に、年度未実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	■ 2. 目標どおり	県との事務調整、国(総務省)の事前ヒアリングなど具体的な手続きが進められた。中核市移行シンポジウムの開催のほか、市報、パンフレット、懸垂幕、ミニのぼり旗などによる市民・団体への広報も充実できた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	Z ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
		:続きを進めるとともに、円滑な移行へ向けて、 !も継続して行い、円滑な中核市移行を目指す。	県・市間の詳細な事務調整、中核市市長会等からの情報収
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)			
・6/%不に、/後の以言/ //と記載/			

<u>事務事業→・ 030200 重点施策 該当なし 平成28年度 第10次鳥取市総合計画</u> 事務事業名 施行時特例市事業 所属名 総務部 総務課

1. 基本情報

	1 - 113 1 IV						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置計	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	てした自治体経常	当	事業期間	平成17年度 ~ 平成29年度
位置づけ	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	
17 D	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法市、 根拠計画等	
+/-		目標の種別			平成32年度	10次60回寸	
目施	指標設定なし		0	0	事業分類区分	ソフト(任意)	
目標の			0	0	運営方法	直営	
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 施行	宁時特例市	事業費			予算事業コード	01-02-01-11-16-03

 2. 事業目的 【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 ・全国の施行時特例市(36市)相互の緊密な連携・国に対する積極的な意思伝達

 意図 (どのような状態にするために)
 移譲や地方中枢都市としての機能など、中核市市長会とも協力を図りながら、国への発言権を強化していく。

 手段 (どうするのか)
 総会の開催や、総務大臣との懇談会を開催するほか、中核市市長会、指定都市市長会と連携することにより、国に対する提言・要請活動を行う。

※年度別の取り組みを簡潔に記入 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 ①総会および総務大臣 ①総会および総務大臣 懇談会等各種会議への 懇談会等各種会議への 参加 おか かか ②国及び関係機関への ②国及び関係機関への 提言活動 提言活動 年度別計画 容 ①総会および総務大臣 懇談会等各種会議へ参 加し会員市の連携を図 りながら地方分権の推 進に向けた取り組みを 年度別実績 ②地方分権や財源確保 などについて役員市と して国及び関係機関へ の提言活動を行った。 決算額(千円) 予算額(千円) 計画額(千円) 計画額(千円) 計画額(千円) 区分 事業費(A+B) 820 0 0 0 0 直接経費 A 820 0 0 0 0 事 国・県 0 0 0 0 0 業 直接経 費 0 0 0 () 地方債 0 費の財 その他 0 0 0 () 0 源内訳 -般財源 820 0 0 0 ()

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 [PLAN·DO] 指標名 平成29年度 平成30年度 平成31年度 単位 区分 平成28年度 平成32年度 目標 8 8 口 実績 8 0 0 0 0 (指標の説明) 国及び関係機関への提言活動を実施する。 活 目標 0 動 実績 0 0 0 2 指 (指標の説明)総務大臣との懇談会を開催し 国に対する各種要望 地方の意思を伝える。 標 目標 0 0 0 実績 0 0 0 0 3 (指標の説明)

	5. 平成28年度の事務事業実施概	ng [DO]	不削牛皮奶	以り他のと六件	のいっぱんくと昇	・事物事素の事	業概要と連動)		
ſ		【問合せ先】行政	係 0857-20-3102						
Ĭ		【10次総の施策	【10次総の施策体系】5101						
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P02(総004)						
			1 総会および総務大臣懇談会等各種会議への参加						
	事務事業の実施概要	分権の推進に向	1 総会および総務大臣懇談会等各種会議へ参加し会員市の連携を図りながら地方 分権の推進に向けた取り組みを行った。2 地方分権や財源確保などについて役員市として国及び関係機関への提言活動を						
		向性】 、中核市へ移行す どへの出席、財源 有を図る。							
L									
6	6. 活動指標の達成率【CHECk	<1							
ľ	指標の足滅中へのにおり		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
ľ	国及び関係機関への提言活動の実施 1	色	100%						
В	標 総務大臣との懇談会の開催	_	100%	100%					
	成 								
L									
	7. 評価【CHECK】								
F	評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(評	F価の視点を踏	まえて記入)			
F	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ■	1. 計画を上回る 2. 計画どおり		評価理由(討	平価の視点を踏	まえて記入)			
	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 ■	1. 計画を上回る		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)			
	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が9月末時点でどのような進捗状況かを選 RUてください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る		評価理由(評	平価の視点を踏	まえて記入)			
[] 言	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選 沢してください。 事業の成果 指標/タブの入力結果を基に、年度末実績が1日 環を達成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了		評価理由(評	呼価の視点を踏	まえて記入)			
[in]	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選 RUてください。 事業の成果 指標タブの入力結果を基に、年度末実績が1日 帰を達成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る		評価理由(評	呼価の視点を踏	まえて記入)			
[in]	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業計画が5月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 指標)タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る 方向性【ACTION】							
[in]	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が引末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 指標)タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る 方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改善継続	□ 1-1 意図的 □ 1-2 制度的	に拡充に自然増加	□ 4-1 意 ■ 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少			
[[言:]	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が9月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 指標のプの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 8. 事業の成果を踏まえた今後の 今後の方向性	1. 計画を上回る 2. 計画をおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標をおり 3. 目標を下回る 方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改善継続 3. 現状維持	□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	□ 4-1 意 ■ 4-2 制 □ 5-1 臨4	図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図			
[in]	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が9月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 指標タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画をおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を下回る 3. 目標を下回る 方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改夫継続 3. 現状維持 4. 縮小	□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等 □ 2-2 効率化 □ 2-3 他事業	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-1 意 ■ 4-2 制 □ 5-1 臨 □ 5-2 意 □ 5-3 制	図的に縮小 度的に自然減少 軍実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止		

 事務事業コート
 030300
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地方創生ストリートミーティング事業
 所属名
 企画推進部 政策企画課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

	1 113 11A						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置計	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	てした自治体経常	事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度	
位置づけ	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	
17 D	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目無	指標設定なし			0	0	事業分類区分	その他
骨標の				0	0	運営方法	直営
0)			0	0	会計区分	一般会計	
予算	♀ 予算事業名 地方創生推進事業費					予算事業コード	01-02-01-07-01-51

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	若い世代
意図 (どのような状態 にするために)	次世代の鳥取市を担う若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため
手段 (どうするのか)	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催

3.	事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]
----	-------------	-----------

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画		①若い世代と市長との 座談会(ストリートミ ーティング)の開催	①若い世代と市長との 座談会(ストリートミ ーティング)の開催	①若い世代と市長との 座談会(ストリートミ ーティング)の開催	①若い世代と市長との 座談会(ストリートミ ーティング)の開催
谷	年度	E別実績	①子育て世代、移住若 者世代、働、若者女性 、新規就農者、中学生 を対象に計6回実施。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		貴(A+B)	25	0	0	0	0
事	直接	経費 A	25	0	0	0	0
業	古拉奴	国•県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	25	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		ストリートミーティングの開催	口	目標	6	6	6	6	6
	1		ī	実績	6	0	0	0	0
\-		(指標の説明) 若い世代と市長との座	談会(ス	トリート	ミーティング)を	開催する			
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
121				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		•					

		概要【DO】		4× 7 1111 07 C 5 111	的に記入(予算	1.123 1.214-2	1111111111111		
1		【問合せ先】創生質	戦略室 0857-20-	3160					
		【10次総の施策体	本系】5101						
		【予算計上の経過】 予算事業別概要		P38 (企0	07)				
			「鳥取市創生総合戦略」では「ひとづくり」を第一の柱に据え、若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため、市長自ら若者と対話し、いただいた意見を施策に反映						
	事務事業の実施概要	平成28年度『均	業の成果】 内容>若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催 平成28年度『地方創生ストリートミーティング』 第1弾「子育て世代編」 親子36組 平成28年4月28日実施 平成28年5月12日実施						
		第3弾「働く	若者女性編」 就農者編」	移住者10名 働く女性14名 新規就農者6名 中学生10名	平成29年1月	18日実施 26日実施			
		【今後の課題・方に継続して実施する		は、若手経営人	、県外に出てい	ハる学生などと	: 実施予定。		
6.	活動指標の達成率 【CHEC	K]							
		標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
指	ストリートミーティングの開催 1		100%						
標達	2								
成 率	3								
	"								
7									
	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(訂	平価の視点を踏	まえて記入)			
	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の推集度	1. 計画を上回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
[事業計画が	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
[事業計画が	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 が8月末時点でどのような進捗状況かを選 (ください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
[事業計画が択して	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 即プの入力結果を基に、年度末実績が目	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
[事業計画が択して	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 にください。 事業の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)			
[事業計画が択して	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 集績タブの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 くべださい。 事業の成果 見タブの入力結果を基に、年度末実績が目 連成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る	□ 1−1 意図的		平価の視点を踏 コ 4-1 意				
[事業計して	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「実績タブの入力結果を基に、年度の事業が3月末時点でどのような進捗状況かを選 「ください。 事業の成果 「関プの入力結果を基に、年度末実績が目達成できたかどうかを選択してください。」 「国事業の成果を踏まえた今後の	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る 	□ 1-2 制度的	に拡充に自然増加	□ 4-1 意區 □ 4-2 制度	図的に縮小 度的に自然減少			
[事業計して	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別すの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 C〈ださい。 事業の成果 □ 事業の成果 □ 事業の成果 □ 今後の方向性 □	1. 計画を上回る 2. 計画がおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標がいり 3. 目標を下回る 1. 拡充 1. 拡き継続 2. 改善継続 3. 現状維持 4. 縮小	□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等 □ 2-2 効率化	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化	□ 4-1 意図 □ 4-2 制匠 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図	図的に縮小 度的に自然減少 〒実施等、意図 図的に廃止			
[事業] おいまま は 標を がままま あいまま は 標を がままままままままままままままままままままままままままままままままままま	評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別すの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 C〈ださい。 事業の成果 □ 事業の成果 □ 事業の成果 □ 今後の方向性 □	1. 計画を上回る 2. 計画がおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標がおり 3. 目標を下回る 1. はたででは、 2. は、 2. は、 2. は、 3. 現状維持 4. 縮小	□ 1-2 制度的 □ 2-1 手段等 □ 2-2 効率化 □ 2-3 他事業	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-1 意図 □ 4-2 制匠 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意図 □ 5-3 制匠	図的に縮小 度的に自然減少 〒実施等、意図 図的に廃止			

 事務事業コート
 030400
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 構造改革特別区域推進事業
 所属名
 企画推進部 政策企画課

	ţ	_	ī	4	
1	Ŧ	\rightarrow	庄	푔	3

	I III I IV						
位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	てした自治体経常	事業期間	平成19年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			担加法人	構造改革特別区域法(平成14
IT O	施策	5101	中核市移行による地方分	権の推進と開か	根拠法令、 根拠計画等	年法律189号)	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似地们四寸	
担無の	指標設定なし	指標設定なし			0	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名					予算事業コード	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	教育、農業、社会福祉などの分野における構造改革を推進し、地域の活性化を図り、本市の経済を発展させる。
手段 (どうするのか)	各地域の特性に応じて規制の特例措置を定めた構造改革特別区域を設定する。

3.	3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入							
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		①年間約3回程度ある	①年間約3回程度ある	①年間約3回程度ある	①年間約3回程度ある	①年間約3回程度ある		

内容	年度		む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区	む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区	む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区	①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に か)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。
		E別実績					
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
		費(A+B)	0	0	0	0	0
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0
業費	±++ 47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	質の別源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		全庁への周知	口	目標	3	3	3	3	3		
	1			実績	3	0	0	0	0		
ᅩ		(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。									
活動		認定特区件数	仕	目標	1	1	1	1	1		
動指	2		11	実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明) 新規に特区認定された件数									
1,534				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5	. 平	成28年度の事務事業実	施概要【DO】	※前年度の	取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)		
			【問合せ先】企画誌	周整係 0857-20-3	3153					
			【10次総の施策体	本系】5101						
			【予算計上の経過】	なし						
				1 構造改革特区申請取りまとめ、全体進捗管理						
		事務事業の実施概要	の自然的、経済的、 ・H19年 3月 「 ・H26年 3月 「	地域の取組の妨げとなる規制を取り除くツールとして構造改革特区の申請を行い、地域 の自然的、経済的、社会的諸条件等を活かした地域活性化の一助とした。						
			1 庁内での活用 2 活用のメリット	【今後の課題・方向性】 1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を目指す。 2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う。						
6	江	動指標の達成率【CHE	-ck]							
ř	. /白			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
抖	1	全庁への周知		100%						
模	是 2	認定特区件数								
厄ዻ	₹ <u> </u>									
L										
7		価【CHECK】 価項目と評価の視点	評価内容		評価理由(1	平価の視点を踏	主えて記 λ)			
r		<u> </u>	□ 1. 計画を上回る		11 Im-T P4 (1		0172 (110) (7			
[事 計i	業実績 画が3月	到タブの入力結果を基に、年度の事業 引末時点でどのような進捗状況かを選	■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了							
	してくだ		□ 1. 目標を上回る	全庁への周知	は実施したが、	特区申請はなか	った。			
[指	標]タブ	→ 未び及木 ・の入力結果を基に、年度末実績が目	□ 2. 目標どおり■ 3. 目標を下回る							
標	を達成	できたかどうかを選択してください。								
_8	<u>.</u> 事	業の成果を踏まえた今後	後の方向性【ACTION】							
			□ 1. 拡充 [□ 1−1 意図的 □ 1−2 制度的		□ 4-1 意	図的に縮小 度的に自然減少	_ 		
		今後の方向性	■ 3. 現状維持 [] 2-1 手段等	の改善	□ 5−1 臨4	丰実施等、意図			
			□ 4. 縮小 □ □ 5. 休止、廃止、終了 □	」 2 − 2 効率化 □ 2 − 3 他事業		□ 5-2 意[□ 5-3 制]				
	-	当課長の評価コメント	基本は現状の事業を維持しつつ、制度							
/	今後	の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的								

 事務事業コード
 030500
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域再生計画推進事業
 所属名
 企画推進部 政策企画課

1	基	本'	情	報	

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
総合計画	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	まちづくりを支える自立した自治体経営			平成17年度 ~ 全期
づ直	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	地域再生法(平成17年法律第
17 O	施策	5101	中核市移行による地方分	か権の推進と開かれ	根拠法市、 根拠計画等	24号)	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
担無の	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
標の				0	0	運営方法	直営
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名					予算事業コード	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	地域経済の活性化と地域雇用の創造
手段 (どうするのか)	地域再生法に基づく各種メニューを活用した事業を実施する際に、全庁的な調整を行う。

3	事業の年度別計画・実績	

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	争表の:	<u> </u>	・美模【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に								
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度	麦別計画	①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図 る。	①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図 る。		①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図 る。	①年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図 る。				
谷	年度	 医別実績	①グループウェア全庁 掲示板により周知 ・4月8日 ・8月23日 ・3月8日 ・成果≫ 申請による認定 1件(本市単独)								
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業費	隻(A+B)	0	0	0	0	0				
事	直接	経費 A	0	0	0	0	0				
業	.±.±±.4∇	国∙県	0	0	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
1		一般財源	0	0	0	0	0				

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		全庁への周知回数	П	目標	3	3	3	3	3	
	1			実績	3	0	0	0	0	
77		(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。								
活動		地域再生計画認定件数	件	目標	1	1	1	1	1	
指	2			実績	1	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
1234				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)			•	•		•		

【1 の次線の販策係 0857-20-3163 【1 の次線の販策係 0857-20-3163 【1 の次線の販策体列 5101 【7 等計上の経過】	Э.	1 /	成28年度の事務事業実施	也似安(ロロ)		※前年度の	取り組みを具体	が川〜記入(ア昇	争務争系の争	耒概安と理期)	
「子菜汁上の経過」なし				【問合せ先】	企画調	整係 0857-20-3	3153				
中楽の概要 1 地域再生計画印音の取りまとめ、全体進捗管理 1 地域再生計画 1 地域に成社 1 を要に応じて計画設定の調整を実施 2 28年度中諸数 (実施) 1 作				【10次総の	施策体	系】5101					
1 地域再生計画開設の取りまとめ、全体進捗管理 国際原係機関調整 「事業の成果」				【予算計上の	経過】	なし					
1				1 地域再生	計画申		り、全体進捗管	理			
「今後の連盟・方向性] 1		-	事務事業の実施概要	1 必要に応 2 28年度 ・H28年8	1 必要に応じて計画認定の調整を実施2 28年度申請数(実績)1件・H28年8月認定「麒麟のまち」まるごとシティセールス・地方創生再生計画						
指標名 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 100% 100				 庁内での 2 活用のメ 減する方向で 3 関連交付 	1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を目指す 2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う 3 関連交付金等の情報の収集にあたるとともに、各担当課の事業立案時にアドバイス等						
指標名 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 100% 100											
指標名 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日	_	'T =	計化価の法式表 【の口口	OK.							
1 全庁への周知回数	0.	泊里									
2			1 3	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業表間27の入力競展を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況がを選択して(ださい。 事業の成果 「指稿/97の入力競展を基に、年度本業績が日 機を達成できたかどうかを選択して(ださい。) 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 1	指	1		指標名				平成30年度	平成31年度	平成32年度	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業素制βブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況がを選択してください。 事業の成果 「指標プラの入力結果を基に、年度本実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標がおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-1 意図的に縮小 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 □ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-2 意図的に廃止 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数価等を用いた具体的 「今後の方向性」を判断した理とがあわせて必要と考える。 「今後の方向性」を判断した理とがあるの関連を図ることがあわせて必要と考える。	達	2	全庁への周知回数	指標名		100%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 「事業素制βブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況がを選択してください。 事業の成果 「指標プラの入力結果を基に、年度本実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性 【ACTION】 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標がおり □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-1 意図的に縮小 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 □ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-2 意図的に廃止 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数価等を用いた具体的 「今後の方向性」を判断した理とがあわせて必要と考える。 「今後の方向性」を判断した理とがあるの関連を図ることがあわせて必要と考える。	達成	2	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数	指標名		100%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
年度計画の進捗度 本実に	達成率	3	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数	皆標名 		100%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
事業実績 かプの入力結果を基に、年度の事業 計画がり末時点にどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果	達成率	3 評价	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			100%	100%			平成32年度	
事業の成果 「指標/タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 1. 目標を上回る 2. 目標とおり 3. 目標を下回る 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 意図的に縮小 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 制度的に自然減少 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 1 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	達成率	2 3 評値 評価	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 TOHECK T項目と評価の視点	評価内容 □ 1. 計画を上回る		100%	100%			平成32年度	
 指標タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 3. 目標を下回る 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 1. 拡充 2. 改善継続 1-2 制度的に自然増加 4-1 意図的に縮小 4-2 制度的に自然減少 3. 現状維持 4-1 意図的に縮小 1-2 制度的に自然増加 4-2 制度的に自然減少 5-1 臨年実施等、意図的に休止 4. 縮小 2-2 効率化、簡素化 5-2 意図的に廃止 5-4 統正、廃止、終了 2-3 他事業との統合 5-3 制度的に終了 内部調整事務のため、事業自体は現状維持が妥当。なお、本制度は今後の法律制限解除等の事務処理負担軽減や、国費等の有効財源の活用の際に必要となるため、一層の制度の把握と、行政内部への周知を図ることがあわせて必要と考える。 	達成率 7 事	2 3 評信 評信	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了		100%	100%			平成32年度	
8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-1 意図的に縮小 □ 4-2 制度的に自然減少 □ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 世当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的	達成率 7 事	2 3 評信 評信	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □		100%	100%			平成32年度	
今後の方向性 □ 1. 拡充 □ 2. 改善継続 □ 2-1 手段等の改善 □ 4-1 意図的に縮小 □ 4-2 制度的に自然減少 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5-3 制度的に終了 □ 4-1 意図的に縮小 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5-3 制度的に終了 □ 4-1 意図的に縮小 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5-3 制度的に終了	達成率 7. 事訊机 指	2 3 評価 年 年 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る		100%	100%			平成32年度	
今後の方向性 ■ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 臨年実施等、意図的に休止 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5-2 意図的に廃止 □ 5-3 制度的に終了 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的	達成率 7. 事訊机 指標	2 3 事件 日 頼月ださずででです。 事達を対してくださずでは、 東連連を対してくれている。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連をでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「以、 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標どおり □ 3. 目標を下回る	N]	100%	100%			平成32年度	
□ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了 担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的	達成率 7. 事訊択 指標	2 3 事件 日 頼月ださずででです。 事達を対してくださずでは、 東連連を対してくれている。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連をでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 一【CHECK】 一項目と評価の視点 一度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 まい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をより □ 3. 目標を下回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充		100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%	100% 評価理由(i	平価の視点を踏	まえて記入)		
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的	達成率 7. 事訊机 指標	2 3 事件 日 頼月ださずででです。 事達を対してくださずでは、 東連連を対してくれている。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連連を対している。 第一連をでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 一【CHECK】 一項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 「おい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画をおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る ■ 2. 目標をおい回る □ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充		100% 100% 1-1 意図的 1-2 制度的	100% 評価理由(記 に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	まえて記入)	>	
·	達成率 7. 事訊机 指標	2 3 事件 年 編月 できる	全庁への周知回数 地域再生計画認定件数 一【CHECK】 一項目と評価の視点 上度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 さい。 事業の成果 の入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。 集の成果を踏まえた今後 今後の方向性	評価内容 □ 1. 計画を上り □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上のる ■ 2. 目標をおい □ 3. 目標をおい □ 1. は標をがい □ 3. 目標をがらいる □ 3. 目標をがらいる □ 3. 目標をがらいる □ 4. なき継続 ■ 3. 現状 □ 4. 縮小		100% 100% 1 100% 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に拡充 に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化	平価の視点を踏 四 4-1 意 回 4-2 制加 □ 5-1 臨4 □ 5-2 意	図的に縮小 小 で	>	

 事務事業コート
 030600
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域づくり懇談会開催事業
 所属名
 企画推進部地域振興局 協働推進課

	ţ	_	ī	4	
1	Ŧ	\rightarrow	庄	푔	3

	- 113 1W						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置が	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営			事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	
けの	施策	5101	中核市移行による地方分	か権の推進と開か.	れた市政の運営	依拠法で、 根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の				0	0	運営方法	直営
•				0	0	会計区分	一般会計
予質	予算事業名 地址	成づくり懇談	会開催費			予算事業コード	01-02-01-01-07-03

 2. 事業目的 【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 市内 6 1 地区(地区公民館単位で開催)

 意図 (どのような状態 にするために)
 地域及び市政の課題を解決し、対話行政を推進することにより、市政の一層の発展と協働による地域づくりの推進を図る。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3. 争耒の平及別計</u>			・夫禎 【PLAN・DO】			水牛皮別の取り組みを間深に記入			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
内容	年度	E別計画	•32地区開催(鳥取	①地域づくり懇談会の 開催 ・32地区開催(鳥取 地域17地区、新市域 15地区) ②開催方法の見直し検 討	①検討結果を踏まえた 開催	①検討結果を踏まえた 開催	①検討結果を踏まえた 開催		
谷	年度	 野実績	①地域づくり懇談会の 開催 •28地区 •986人参加						
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)		
	事業費	貴(A+B)	543	0	0	0	0		
事	直接	経費 A	543	0	0	0	0		
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0		
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0		
	源内訳	その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	543	0	0	0	0		

_	<i></i>	ではスペーのことで人間のたれまりつべる								
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		参加人数	名	目標	1000	1000	1000	1000	1000	
	1			実績	986	0	0	0	0	
,т		指標の説明) 懇談会に参加した市民の人数								
活動	2	参加者の満足度	%	目標	50	50	50	50	50	
動指			/0	実績	37	0	0	0	0	
標		(指標の説明) 懇談会に参加した市民の満足度(アンケート集計結果)								
1234				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)		•		•				

5	亚	成28年度の事務事業実施	施概要【DO】	※前年度 <i>0</i>)取り組みを具体	:的に記入(予算	「車務事業の事	(うら) 業概要と連動)			
Ť		 		ミュニティ支援係		,	ナッチャン・	不 1 元 义 二 之 4 3 7			
			【10次総の施	5101							
			【予算計上の経	【予算計上の経過】 当初(予算事業別概要なし)							
			【事業の概要】 市長以下、市	【事業の概要】 市長以下、市幹部職員が地域に出向き、市民と直接意見交換を行う。							
			【事業の成果】	【事業の成果】							
			平成26年度 平成27年度	平成26年度 31地区(鳥取地域33地区中16地区、新市域28地区中15地区) 平成27年度 30地区(鳥取地域33地区中16地区、新市域28地区中14地区) 平成28年度 28地区(鳥取地域33地区中16地区、新市域28地区中12地区)							
	事務事業の実施概要		【今後の課題・ さらなる協働 方法などを検討	かまちづくりの推	進につながるよ	う、住民の希	望も取り入れた	ながら、開催			
				, , , ,							
L											
_			_								
6	. 活	動指標の達成率【CHE 	:CK】 指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
	Ι.	参加人数		平成28年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度			
才	旨 1	参加人数参加者の満足度		99	%		平成31年度	平成32年度			
非相 違反	旨 票 2	参加人数 参加者の満足度 2			%		平成31年度	平成32年度			
	宣言 2	参加人数 参加者の満足度 2		99	%		平成31年度	平成32年度			
打村过 万至	自	参加人数 参加者の満足度	指標名	99	% % 74%			平成32年度			
打村过 万至	自	参加人数 参加者の満足度	指標名 評価内容	74	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)				
打村过 万至	自票 2 室 2 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	参加人数 参加者の満足度	指標名	74	% % 74%	平価の視点を踏	まえて記入)				
技権対方区 フロー	音票を収容 . 評評 : 業が3月	参加人数 参加者の満足度 個【CHECK】 価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 同すづの入力結果を基に、年度の事業 日末時点でどのような進捗状況かを選	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了	74	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)				
技権対方区 フロー	自票全 戈 至 · 平平 : ********************************	参加人数 参加者の満足度 一個「CHECK」 「個項目と評価の視点 「年度計画の進捗度 「動力の入力結果を基に、年度の事業 日末時点でどのような進捗状況かを選 ださい。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る	99 74 目標値に近い 市民と幹部が	評価理由(記	平価の視点を踏 、今後も広報等	まえて記入)の周知に努めが	とい。			
お材造 万塁 フ 理計択	音票を投送 : 業前でで まがらくた	参加人数 参加者の満足度 一個【CHECK】 一個項目と評価の視点 一年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 さい。 事業の成果	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり	99 74 目標値に近V	が 74% 評価理由(記 参加者数であり	平価の視点を踏 、今後も広報等	まえて記入)の周知に努めが	とい。			
	当票を火点 · 業前で 実際がた ・ ・ 実際	参加人数 参加者の満足度 一個「CHECK」 「個項目と評価の視点 「年度計画の進捗度 「動力の入力結果を基に、年度の事業 日末時点でどのような進捗状況かを選 ださい。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る	99 74 目標値に近い 市民と幹部が	が 74% 評価理由(記 参加者数であり	平価の視点を踏 、今後も広報等	まえて記入)の周知に努めが	とい。			
おおう フ 『計択』 『持標』	1 2 3 薬動し 様を連	参加人数 参加者の満足度 一個「CHECK」 一個項目と評価の視点 一年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 さい。 事業の成果 プの入力結果を基に、年度末実績が目 できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標を下回る ■ 3. 目標を下回る	99 74 目標値に近い 市民と幹部が る。	が 74% 評価理由(記 参加者数であり	平価の視点を踏 、今後も広報等	まえて記入)の周知に努めが	とい。			
おおう フ 『計択』 『持標』	1 2 3 薬動し 様を連	参加人数 参加者の満足度 一個【CHECK】 一個項目と評価の視点 一年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 され、 事業の成果 プの入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をより ■ 3. 目標を下回る □ 1. 1 拡充	99 74 目標値に近い 市民と幹部が る。	新価理由(記念) 神価理由(記念) が一番数であり 地域等の課題を	平価の視点を踏 、今後も広報等 共有することで	まえて記入)の周知に努めた、課題の解決に	たい。 こつながってい			
おおう フ 『計択』 『持標』	1)日票を主义 151 ・ 業画し	参加人数 参加者の満足度 一個【CHECK】 一個項目と評価の視点 一年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 ささい。 事業の成果 ブの入力結果を基に、年度末実績が目 できたかどうかを選択してください。 業の成果を踏まえた今後	指標名 評価内容	99 74 目標値に近い 市民と幹部がる。 1 1-1 意図E ロ 1-2 制度E	新価理由(記念) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	平価の視点を踏、 へ今後も広報等 共有することで ロ 4-1 意[ロ 4-2 制]	まえて記入)の周知に努めが、課題の解決に図的に縮小度的に自然減少	たい。 こつながってい			
おおう フ 『計択』 『持標』	1)日票を主义 151 ・ 業画し	参加人数 参加者の満足度 一個「CHECK」 一個項目と評価の視点 一年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 さい。 事業の成果 プの入力結果を基に、年度末実績が目 できたかどうかを選択してください。	指標名 評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標をより ■ 3. 目標を下回る □ 1. 1 拡充	99 74 目標値に近い 市民と幹部が る。	神価理由(記念を) であり 地域等の課題を かに拡充 かに自然増加 を の改善	平価の視点を踏 、今後も広報等 共有することで ロ 4-1 意 ロ 4-2 制加 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意[まえて記入)の周知に努めが、課題の解決に富然が高い、課題の解決に富然減少年実施の発達を表記のできまれる。	たい。 こつながってい			
おおう フ 『計択』 『持標』	1)日票を主义 151 ・ 業画し	参加人数 参加者の満足度 一個「CHECK」 個項目と評価の視点 年度計画の進捗度 前タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選 され、 事業の成果 プの入力結果を基に、年度末実績が目できたかどうかを選択してください。 業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	指標名 評価内容	99 74 1 標値に近い 市民と幹部がる。 1 1-1 意図に □ 1-2 制度に ■ 2-1 手段・ □ 2-2 効率に □ 2-3 他事:	神域等の課題を 対に拡充増加 等の改素化 まの統合	平価の視点を踏 、今後も広報等 共有することで コームー2 制加コラー1 臨ロコラー1 臨ロコラー2 意に コラー2 意に コラー3 制加コラー3 利加コラー3 利加ココラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加ココラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加コラー3 利加ココラー3 利加コラー3 利加ココラー3 利加ココラー3 利加ココラー3 利加ココラー3 利加ココラー3 利加ココラー3 第二十二 第二十二 第二十二 第二十二 第二十二 第二十二 第二十二 第二十	まえて記入)の周知に努めが、課題の解決に縮自然減少年実的に廃止、変的に終了	たい。 こつながってい			

事務事業コード 030700 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 市報発刊配布事業 所属名 企画推進部 秘書課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

	1 1 1 1 I I I I I I I I I I I I I I I I						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	てした自治体経常	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	01	中核市移行による地方分	か権の推進と開か.	根拠法令、		
17 O	施策	5101	中核市移行による地方分	か権の推進と開か.	根拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の				0	0	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 市	報発刊配布	背		予算事業コード	01-02-01-03-01-01	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市の政策やお知らせなどの情報を広く市民に周知するため。
手段 (どうするのか)	とっとり市報と各総合支所だよりを発行し、自治会等の組織を通じ各戸へ配布する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			①市報発行 ②支所だより発行	①市報発行 ②支所だより発行	①市報発行 ②支所だより発行	①市報発行 ②支所だより発行	①市報発行 ②支所だより発行
内容	年度	E別計画	報や身近なまちの話題 等を市報で提供する。 配付は自治会を単位と	※市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。 配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	※市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。 配付は自治会を単位と する組織に依頼する。	※市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。 配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	※市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。 配付は自治会を単位とする組織に依頼する。
谷	年度	 医別実績	①毎月1回(1日)に 市報67,000部を 発行し、約1,400 の町内会等の組織を通 じて配布した。 ②新市域で支所だより を15,500部発行 した。				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	57,416	0	0	0	0
事	直接	経費 A	57,416	0	0	0	0
業	1-+ AT	国∙県	6,222	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	質の別源内訳	その他	6	0	0	0	0
		一机针活	E1 100	0	0	0	0

1	咨消を427	、 オスニレで宝饰	した活動の大きさを表す指標	

51,188

-般財源

<u> </u>	5 (11)	「と」又ハッ ひここく大心しに 旧却の八つ	<u>. C : A</u>	/ <u>1017</u>	I D III DO				
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		とっとり市報に対する肯定的な意見数(年平均)	仕	目標	650	650	650	650	0
	1		11	実績	768	0	0	0	0
\ _		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
INC				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•	•	•	

5.	5. 平成28年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)												
				【問合	せ先】広	報室	0857-2	20-3132					
				[10]	欠総の施2	策体系	系】510	01					
					計上の経 事業別概		欠:当	初予算・	P41 (企C	13)			
【事業の概要】 鳥取市報は、昭和 。 平成 2 4 年度には 1 発行回数…計 2 発行部数…計 3 企画…市報: 4 配付方法…搬 町内会未加入 商業施設への				に…・報…加へ: 1答 方情は市市:搬入の9 0が 向報	、報報AA送者設1 月8 生をス::44業は置5 実5 】入 で月6版者、は力) 施% 手	ー17力が各シ所のとするフォーク・ファーク・ファーク・ファーク・ファーク・ファーク・ファーク・ファーク・ファ	トンで 日 2 0 0 2 0 3 2	きだだが、 7所 に体のよりりけっ委 よとよと よくしょく よと まんしょく まんしょく おんしょく はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	子市1A担ビ。業 とっ書報54当ニ 施 、て に しょう しょうしょう しょうしょう しょい しょい しょい しょい しょい しょう	版も開始。 併せ発行 500部 4頁 が商業施設で 60カ所 市の情報をする。	寸。 入手可。 †報から入手		
L				<u> </u>									
6.	活重	助指標の達成率 【CHE	ECK]										
Ė			指標4	名			平成:	28年度	平成29年度	平成3	0年度	平成31年度	平成32年度
指	1	とっとり市報に対する肯定的な意	見数(年	三平均)				118%					
標達成	2												
	3												
7	章亚右	≣ 【CHECK】										•	•
É		画 CONCORA 画項目と評価の視点		評価	内容				評価理由(評価の視	見点を踏	まえて記入)	
	- 年			. 計画を_			とっとり)市報、3	え所だよりとも遅	延するこ	となく	月1回発行した。	
		タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選	□ 3	2. 計画どる 3. 事業未									
	てくださ		□■ 1	. 目標を_	上回る		市民に	こ対し、行	「政情報や身近	たまち σ	話題等	等を提供した。	
[###	11.セブィ	サ 未 り 八 木 カスカ お ままま		2. 目標ども									
		きたかどうかを選択してください。	□ 3	8. 目標を	ト回る								
8	車	業の成果を踏まえた今後	έの‡	· 向性 「 A	CTIONI								
Ŭ.	ナオ	、シバダ水で明みたにつじ	7	· 拡充	CHON		1-1	意図的	に拡充	□ 4-	-1 意[図的に縮小	
		今後の士白州		2. 改善継続					に自然増加			度的に自然減少	
		今後の方向性		3. 現状維 3 縮小	守			手段等 効率化	の改善 、簡素化			年実施等、意図 図的に廃止	
			□ 5	5. 休止、廖			2-3	他事業	との統合	□ 5-	-3 制	度的に終了)) > ^ / / /
(「 わ	今後 <i>0</i> かるよ	語課長の評価コメント の方向性」を判断した理由が よう、数値等を用いた具体的 、、今後の改善プランを記載)		支所だよりと 拡充について		リ月 1 ₪	ョ発行した	こ。市報に	ついては、市政の情	報人手先と	して最も	里安倪されているこ	とから、今後も設置

 事務事業コード
 030800
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 市政広報事業
 所属名
 企画推進部 秘書課

					-
1	-	Ħ-	•	心王	#6

	L. ILD TIV						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立	てした自治体経常	事業期間	平成28年度 ~ 全期	
が間	政策	01	中核市移行による地方分	か権の推進と開か.	根拠法令、		
17 D	施策	5101	中核市移行による地方分	か権の推進と開か.	根拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施 世策	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の				0	0	運営方法	直営
0)				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 市	政広報費				予算事業コード	01-02-01-03-02-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民、山陰地方
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市のイベントやお知らせなどの情報を広く市内外に告知し、集客を図る
手段 (どうするのか)	新聞、テレビ、ラジオなどを活用した広告宣伝を行う

3. 事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]
----------------	-----------

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>ა.</u>	争表の:	<u> 平伐別計画</u>	·美稹【PLAN·DO】			※ 年度別の	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	麦別計画	番組、新聞記事下広告 で、市民が行政情報を 容易に取得できるよう	で、市民が行政情報を 容易に取得できるよう	①テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ ルテレビ番組、男間記事下広告 で、市民が行政情報を 容易に取得できるよう 情報提供する。	①テレビ番組、ケーブ ルテレビ番組、ラジオ 番組、新聞記事下広告 で、市民が行政情報を 容易に取得できるよう 情報提供する。	①テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞配事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。
台	年度	 医別実績	①各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	費(A+B)	47,540	0	0	0	0
事	直接	経費 A	47,540	0	0	0	0
業	<u> </u>	国・県	0	0	0	0	0
費		地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	441	0	0	0	0
		一般財源	47,099	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	件	目標	20	20	22	22	0
	1		Η	実績	22	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5	亚日	成28年度の事務事業実	施概要【DO】	※前年度の	取り組みを目休	:的に記入(予管	草事務事業の事	(うら) 業概要と連動)
Ĕ	1 /	《20一及》中初于宋天	【問合せ先】広報室				F	不佩女C E到
			【10次総の施策体	系】5101				
			【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算。	P41 (企0	14)		
【事業の概要 市民が行う 様々なメデラ 報発信ケーラ 2 新聞・ 3 テレト ①生たす (②鳥し 4 ラジラ 【事業の成身 発信をのの課題 な報効果を		* 3 テレビ…スホ 企画 ①生たまごBA ②鳥取市政の窓 4 ラジオ…FM	#報 #報 # で # 大 # 大 # 大 # 大 # 大 # 大 # 大 # 大 # 大 # 大	をも をも に に に に に に に に に に に に に	ボ 土 回回 1 5いテ毎を で に 3 0 は 関加 5いテ毎を が に 3 0 は 関加 5いテ毎を が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	促進するための 分をのべ20回 年1回放送H28 (山陰放送H28 3.20) 日2回 土曜放送 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の広域的な情 回、年50本 5.8.31放送) 改送他 の行政情報の	
6.	活動	動指標の達成率 【CHE	ECK]					
			指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番	系組、新聞等への掲載数(年平均)	110%				
標達成	2							
率								
7.	評化	西【CHECK】						
	評値	西項目と評価の視点	評価内容		評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
		F度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	年間スケジュー	ールどおり事業を			
計画		タブの入力結果を基に、年度の事業 末時点でどのような進捗状況かを選 さい。	□ 3. 事業未完了					
		事業の成果	■ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり				なメディアを活り への浸透を図っ?	
		の入力結果を基に、年度末実績が目 『きたかどうかを選択してください。	□ 3. 目標を下回る					

□ 1-1 意図的に拡充

□ 2-1 手段等の改善

□ 2-2 効率化、簡素化

□ 1-2 制度的に自然増加

□ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 制度的に終了

中間スケジュールどおり事業を完了した。ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアを活用し、市民に分かりやすい広報に

□ 4-1 意図的に縮小

□ 5-2 意図的に廃止

□ 4-2 制度的に自然減少

□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性

担当課長の評価コメント

担当 研及の計画コグライ (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載) □ 1. 拡充

□ 4. 縮小

努める。

□ 2. 改善継続

■ 3. 現状維持

 事務事業コード
 030900
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 ホームページ運用事業
 所属名
 企画推進部 秘書課

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	*	小手	잸	

	T TH TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置が	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ回け	政策	01	中核市移行による地方分	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
17 O	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10000000000000000000000000000000000000	
目施	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の				0	0	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 ホー	-ムページi	軍用費			予算事業コード	01-02-01-03-02-05

 2. 事業目的【PLAN】

 対象 (何を、誰を)
 鳥取市公式ホームページ

 意図 (どのような状態 にするために)
 行政、イベント、観光、危機管理等に関する情報を掲載して、市民やインターネットユーザーに対して情報を提供するもの。

 手段 (どうするのか)
 各課が、行政やイベントなどの情報を入力し、ホームページで情報公開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

3.	事果の:	牛皮別計画	・美稹 【PLAN・DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	ホームページの内容充 実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し	ホームページの内容充 実 ①操作研修	ホームページの内容充 実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し ③システム更新	
台	年度	E別実 績	①ホームページの操作 研修会を年1回開催。 ②公式ホームページの コンテンツの見直しを 行い、古い情報が掲載 されているコンテンツ の更新及び不要なコン テンツの削除を実施。 (9月、3月)				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	4,694	0	0	0	0
事	直接	経費 A	4,694	0	0	0	0
業	±+±.47	国∙県	19	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	767	0	0	0	0
		一般財源	3,908	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数 (月平均)	仕	目標	100000	100000	100000	100000	0	
	1		- 11	実績	92000	0	0	0	0	
,т		(指標の説明) 鳥取市公式ウェブサイ	トトップ・	ページの	アクセス件数(月平均)				
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
IVA				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)		•		•	•	•	·	

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

			「同日せん」本	報室 0857-20	0-3132					
			【10次総の施	策体系】510	1					
			【予算計上の経	過】						
			【事業の概要】 鳥取市公式ホページアクセス 新が可能なシス 可能な資料提供 修し、画面のリ	数を誇る重要 テムを導入、 WEBシステ	要な広報 平成 2 テムの追	₿媒体となった 2年11月に 2加導入を行っ	。平成19年 は、報道資料 た。平成25	10月には担当 の提供がホーム 年1月には、シ	当課で情報更 ムページ上で ノステムを改	
	틕	事務事業の実施概要	【事業の成果】 公式ホームページの操作研修会を年1回開催し、担当職員のスキルアップを図った。また、9月と3月に、公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施した。							
			【今後の課題・ 鳥取市公式ホ 市民の皆さんに に、現行システ	ームページに より分かりや	ウすいホ	ベームページを	目指し、平成	31年の新庁舎		
6	迁動	指標の達成率 【CHE	=CK]							
<u> </u>	/D 表		指標名	平成2	8年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指	1	鳥取市公式ウェブサイトトップペ	ージのアクセス件数 (月平均)		92%					
標達成	2									
卒	3			J						
_	ુ									
		· Iouzay)								
	評価	【CHECK】 項目と評価の視点	評価 内容			評価理由(言	平価の視点を踏	まえで記入)		
	評価評価	【CHECK】 項目と評価の視点 度計画の進捗度	評価内容 □ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	定期的に行った。			平価の視点を踏 §会、コンテンツ	まえて記入) の見直しなどを	予定どおり	
[事業計画	評価評価年	項目と評価の視点 度計画の進捗度 プの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選							予定どおり	
[事業計画	評価 年 実績 身本	項目と評価の視点 度計画の進捗度 プの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり□ 3. 事業未完了	行った。 定期的	な保守」	点検や操作研修 点検や操作研修	を会、コンテンツ	'の見直しなどを 'の見直しなどを		
[事業計画) 択して	評価年 実績]タブの	項目と評価の視点 度計画の進捗度 ブの入力結果を基に、年度の事業 時点でどのような進捗状況かを選	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る	行った。 定期的	な保守」	点検や操作研修 点検や操作研修	を会、コンテンツ を会、コンテンツ	'の見直しなどを 'の見直しなどを		
[事業計画が 択して [指標を発	評価 年 実績]タボスださい のき	項目と評価の視点 度計画の進捗度 プの入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選い。 事業の成果 入力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □	行った。 定期的	な保守」	点検や操作研修 点検や操作研修	を会、コンテンツ を会、コンテンツ	'の見直しなどを 'の見直しなどを		
[事業計画が択して	評価 年 実績]タボスださい のき	項目と評価の視点 度計画の進捗度 プの入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選い。 事業の成果 入力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 1 拡充	行った。 定期的; にとって	な保守/ で使いや 意図的	点検や操作研修 点検や操作研修 すいホームペー に拡充	を会、コンテンツ を会、コンテンツ ージを保持した。 □ 4-1 意	'の見直しなどを 'の見直しなどを 。 図的に縮小	行い、利用者	
[事業計画が 択して [指標を発	評価年 実物がたださい ののできます 業	項目と評価の視点 度計画の進捗度 プの入力結果を基に、年度の事業時点でどのような進捗状況かを選い。 事業の成果 入力結果を基に、年度末実績が目たかどうかを選択してください。	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □ 5. 目標を下回る □ 5. 目標を下回る □ 5. 目標を下回る	行った。 定期的: にとって □ 1-1 □ 1-2 ■ 2-1 □ 2-2	な保守が で使いや 図度 関度 的的 等化	点検や操作研修 点検や操作研修 に拡充 に拡発増加 の改善 、簡素化	を会、コンテンツ を会、コンテンツ ージを保持した。 ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	の見直しなどを の見直しなどを の見直しなどを 図的に縮小 実的に自然減少年実施等、意図 図的に廃止	行い、利用者	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

 事務事業コート
 031000
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 情報提供のあり方改善事業
 所属名
 企画推進部 秘書課

	ţ	_	ī	4	
1	Ŧ	\rightarrow	庄	푔	3

	1 . 113 11W						
位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置計	まちづくりの目標	票 50	まちづくりを支える自立した自治体経営			事業期間	平成28年度 ~ 全期
総合計画	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法令、	
17 O	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			根拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
目施	指標設定なし			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の				0	0	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青報提供のあ	り方改善事業費			予算事業コード	01-02-01-03-02-17

	2.	事業日	时([PLA	(NA
--	----	------------	----	------	-----

対象 (何を、誰を)	市職員 各種広報ツール 市民
意図 (どのような状態 にするために)	【わかりやすい市政】市民に対し、市政をわかりやすく説明できる職員を育成する。 【伝わりやすい市政】市民に対し、市政が伝わりやすい環境を整備する。 【信頼される市政】政策決定過程から市民参画を促し、市民との情報共有と信頼関係の構築を図る。
手段 (どうするのか)	「わかりやすさ」に重点を置いた研修を実施する。 「伝わりやすさ」を重視した計画的な広報を実施する。 広報と広聴が連携し、市民が意見を寄せやすい環境を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>ა.</u>	事耒の :	牛皮別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	E別計画	①職員の情報提供能力 の向上 ②効果的な広報ツール の活用 ③広報と広聴の連携強 化	①職員の情報提供能力 の向上 ②効果的な広報ツール の活用 ③広報と広聴の連携強 化	②効果的な広報ツール	①職員の情報提供能力 の向上 ②効果的な広報ツール の活用 ③広報と広聴の連携強 化	①職員の情報提供能力 の向上 ②効果的な広報ツール の活用 ③広報と広聴の連携強 化
谷	年度	 野実績	①広報専門職員を配置 ②新聞朝刊各紙に「鳥 取市からのお知らせ」 の折込実施 ③インターネットモニ ターの実施				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)		2,392	0	0	0	0
事	直接経費 A		2,392	0	0	0	0
業	直接経 費の財・ 源内訳	国•県	0	0	0	0	0
費		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,392	0	0	0	0

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
į		市政記者室への資料提供件数	件	目標	1500	1500	1500	1500	0
	1		111	実績	1548	0	0	0	0
		(指標の説明) 市政記者室への資料提供件数(市および市民)							
活動	2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数	件	目標	90	100	110	120	0
動指標			1	実績	92	0	0	0	0
		(指標の説明) CATVコミュニティデー	タ放送の	の地域情	地域情報利用自治会数				
121		市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	件	目標	20	20	20	20	0
	3		1	実績	18	0	0	0	0
		(指標の説明) 市民政策コメントの1件	あたりの)平均意	見件数	_	_		

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

		<u> </u>	【問合せ先	:】広報室	0857-20-3132			• • • •		
			【10次総	【10次総の施策体系】5101						
			【予算計上の経過】 なし							
			情報提供 監・キャ広報 1 エン報 2 エン報 3 広報	【事業の概要】 「情報提供のあり方に関する提言(H25.1.29)を受け、広報専門職員(戦略広報監・キャスター)を配置、効果的な情報提供のあり方について検討を行った。 1 広報担当職員の能力向上 5 CATVの加入促進と視聴率向上 2 ソーシャルメディアの利活用 6 コミュニティFM放送の利用拡大 3 広報と広聴の連携強化 7 職員の情報提供能力向上 4 広報ツールの選択と効果検証 8 政策決定過程の説明ルール化						
	<u> </u>	事務事業の実施概要	1 イン ①実施 報							
			②実施	2 新聞の折り込みチラシ発行 ②実施回数:6回 ②内容:教育福祉振興計画、山陰新幹線、交通安全計画、都市計 画マスタープラン、観光グランドデザイン、リノベーションまちづくり						
				【今後の課題・方向性】 広聴と広報の連携をさらに強化し、情報提供のあり方を改善する。						
6.	活動	カ指標の達成率【CHE	:CK]							
6.			ECK】 指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指					平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達	1 2	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送のJ	指標名 地域情報利用世帯数			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標	1 2	市政記者室への資料提供件数	指標名 地域情報利用世帯数		103%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率	1 2 3	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送のま 市民政策コメント1件あたりの平均	指標名 地域情報利用世帯数		103% 102%		平成30年度	平成31年度	平成32年度	
指標達成率	1 2 3	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送のが 市民政策コメント1件あたりの平均	指標名 地域情報利用世帯数 匀意見件数		103% 102%	102%			平成32年度	
指標達成率	1 2 3 評価	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の対 市民政策コメント1件あたりの平均 【CHECK】 「項目と評価の視点	指標名 地域情報利用世帯数		103% 102% 90%	102%	平価の視点を踏	まえて記入)		
指標達成率 7.	1 2 3 評価年 年 (編) (4)	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の対 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 に度計画の進捗度 フタブの入力結果を基に、年度の事業	指標名 地域情報利用世帯数 匀意見件数	న	103% 102% 90%	102%	平価の視点を踏			
指標達成率 7.	1 2 3 評評 年 編 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 で計画の進捗度 なずの入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評価内容 □ 1. 計画をより ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回	ි ර	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。	102% 評価理由(記 E-二夕一、新聞 <i>0</i>	平価の視点を踏 O折り込みチラジ	まえて記入)ンが当初予定しての件数は少な	ていた件数を	
指標達成率 7. 事無動して 指標	1 2 3 評評 年 実績/オオン	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送のま 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 ・度計画の進捗度 の対の入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評価内容 □ 1. 計画を上回 □ 2. 計画どおり ■ 3. 事業未完了 □	ঠ	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。	102% 評価理由(記 E-二夕一、新聞 <i>0</i>	平価の視点を踏 O折り込みチラジ	まえて記入) ンが当初予定し	ていた件数を	
指標達成率 7. 事無動して 指標	1 2 3 評評 年 実績/オオン	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「対の入力結果を基に、年度の事業 「時点でどのような進捗状況かを選 「、事業の成果 「入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評価内容 □ 1. 計画 画をよおり ■ 3. 事業未完了 □ 1. 目標をより □ 2. 目標をより	ঠ	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。	102% 評価理由(記 E-二夕一、新聞 <i>0</i>	平価の視点を踏 O折り込みチラジ	まえて記入)ンが当初予定しての件数は少な	ていた件数を	
指標達成率 7. 事制报 指標	1 2 3 評価年 年 第43月までで	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「対の入力結果を基に、年度の事業 「時点でどのような進捗状況かを選 「、事業の成果 「入力結果を基に、年度末実績が目	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評価内容 コ.計計計業未完了 コ.3.事業をよお了 コ.2.目標標を下回 コ.3.目標をおい回 コ.6.目標を下回 の方向性【ACTI	อ อ อ oon]	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。 インターネットモ 市が進めている	102% 評価理由(記 テニター、新聞の テニター、新聞の シューターを表演している。	評価の視点を踏 O折り込みチラジ O折り込みチラジ いて、市民への	まえて記入) が当初予定し の件数は少な う情報提供を行う	ていた件数を	
指標達成率 7. 事制报 指標	1 2 3 評価年 年 第43月までで	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選い。 事業の成果 O入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評価内容 コ・計計計業 表完 とおって コ・1・目標をとお下口 コ・3・目標をとお下回 コ・3・目標をある ロロコ・1・拡充	\$ \$ \$ \$ \$ ON]	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。 インターネットモ 市が進めている	102% 評価理由(記 デニター、新聞の デニター、新聞の が重要施策につ	平価の視点を踏)折り込みチラシ)折り込みチラシ いて、市民への	まえて記入) が当初予定し の件数は少な う情報提供を行う	ていた件数を かったが、本 うことができた。	
指標達成率 7. 事制报 指標	1 2 3 評価 年 実績1分までできます。	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「対の入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評画価大的でである。 コ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。 インターネットモ 市が進めている 1-1 意図的 1-2 制度的	102% 評価理由(記 デニター、新聞の デニター、新聞の が重要施策につ に拡充 に自然増加	平価の視点を踏 O折り込みチラシ O折り込みチラシ いて、市民への ロ 4-1 意[ロ 4-2 制]	まえて記入) が当初予定し の件数は少な では、 の件数は少な では、 の情報提供を行う ののに縮小 では、 ののに自然減少	ていた件数を かったが、本 うことができた。	
指標達成率 7. 事制报 指標	1 2 3 評価 年 実績1分までできます。	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 タブの入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選い。 事業の成果 O入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 コ・1・計計計 標本をおった。 コ・2・目標をおった。 コ・3・目標標ををおいる。 コ・1・日間では、これのでは、こ	3 3 3 ON]	103% 102% 90% インターネットモ 下回った。 インターネットモ 市が進めている 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	102% 評価理由(記 評価理由(記 ニニター、新聞の の改善	平価の視点を踏 O折り込みチラシ O折り込みチラシ いて、市民への ロ 4-1 意[ロ 4-2 制]	まえて記入) ンが当初予定し の件数は少な の件数はを行う 図的に縮小 変的に自然減少 年実施等、意図	ていた件数を かったが、本 うことができた。	
指標達成率 7. 事制报 指標	1 2 3 評価 年 実績1分までできまりなってできます。 業績 1分ません アン・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム・ステム	市政記者室への資料提供件数 CATVコミュニティデータ放送の計 市民政策コメント1件あたりの平均 「CHECK」 「項目と評価の視点 「度計画の進捗度 「対の入力結果を基に、年度の事業 株時点でどのような進捗状況かを選 い。 事業の成果 D入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。	指標名 地域情報利用世帯数 対意見件数 評画価大的でである。 コ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る る る ON】 □ □	103% 102% 90% 90% インターネットモ 下回った。 インターネットモ 市が進めている 1-1 意図的 1-2 制段時 2-1 列等に 2-2 効事業 2-3 他事業	102% 評価理由(記 評価理由(記 ニター、新聞の ま重要施策につ に拡充 に自然増加 の改素化 との統合	平価の視点を踏っ折り込みチラジン折り込みチラジンがで、市民へのロー 4-1 意にロー 4-2 制にロー 5-1 臨こロー 5-2 制にロー 5-3 制に	まえて記入) ンが当初予定し の件数は少なう情報提供を行う 図的に自然減少年実施廃止 度的に終了	ていた件数を かったが、本 うことができた。 かに休止	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)